

平成 29 年度 指定 管理者 運営 状況 検証 シート

県所管課	保健福祉部生きがい推進局長寿介護課
------	-------------------

平成30年3月31日現在


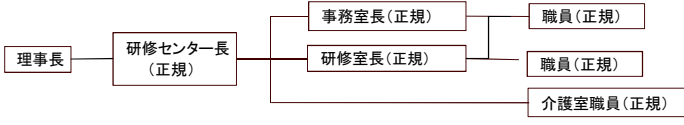
1. 施設名等

施設名 (設置年月日)	愛媛県在宅介護研修センター (平成16年4月1日)	所在地 電話 HP	松山市末町甲9番地1 089-914-0721 http://home.e-catv.ne.jp/e-zaitakuigaio
----------------	------------------------------	-----------------	---

2. 指定管理者

指定管理者名	特定非営利活動法人 愛と心えひめ	指定期間	平成26年4月1日 ~ 平成31年3月31日	(5年間)
--------	------------------	------	------------------------	-------

3. 施設の概要と指定管理者が行う業務等

設置目的	介護を必要とする高齢者を支えるため、その家族、ボランティアなど一般県民に対して、在宅介護に関する研修を行うとともに、介護に関する相談、情報の提供等を行う。	施設の外観 
施設内容	研修室、宿泊室、浴室等	
指定管理者が行う業務	①在宅介護の研修 ②介護に関する相談 ③介護に関する情報の提供 ④介護にかかわる関係団体等との連絡調整 ⑤センターの施設、附属設備等の維持管理 ⑥上記業務に付随する業務	
施設の管理体制		
利用料金等	利用料金制 <input type="checkbox"/> 採用している <input checked="" type="checkbox"/> 採用していない 前年度からの変更 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし (変更ありの場合、その内容) -	
開館日・開館時間	開館日：年末年始(12/29~1/3)を除く日、開館時間：午前9時～午後5時	

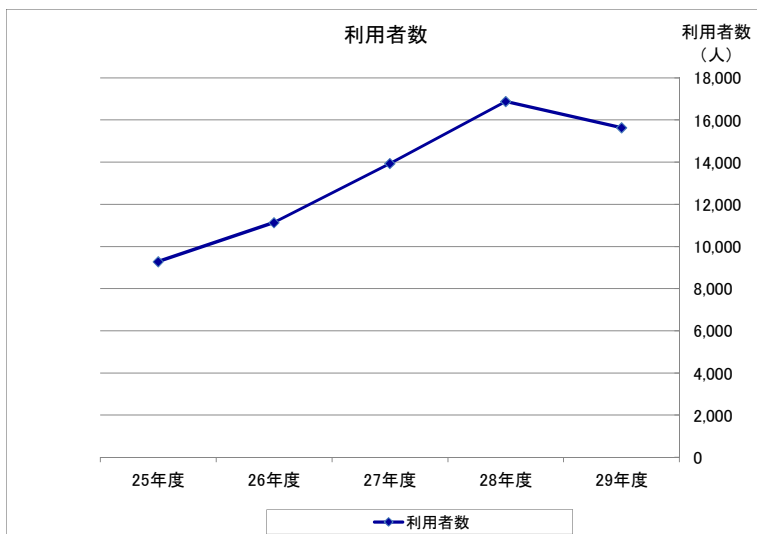
4. 指定管理業務に係る県の委託料(協定締結額)

年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
県委託料(千円)	42,896	44,226	44,226	44,226	44,449	44,449

5. 施設の利用状況

(1) 施設の利用者数と利用料金収入

年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	対前年度増減率
利用者数(人)	9,280	11,133	13,938	16,886	15,639	△ 7.4 %
利用料金収入(千円)	-	-	-	-	-	- %



(2) 利用者数、利用料金収入の増減理由

対前年度増減率が±5%以上の場合、その理由

(利用者数)

平成29年度の研修受講者は、過去最高だった28年度には及ばなかったものの、過去2番目に多い受講者を記録した。出前講座の依頼が増加していることから、主催講座の開催数は減少したが、講座1回あたりの受講者数は増加しており、引き続き高水準の実績を維持している。<平成29年度実績計：講座開催405回、受講者15,639名>

(利用料金収入)

-

6. サービスの質向上に向けた取組み

ア) サービス向上を図る主な取組み

(○は指定管理者制度導入以降、継続的な取組み、☆は平成29年度の新たな取組み、※は利用者からの要望により実施)

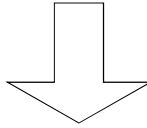
平成29年度の内容	平成30年度の内容(予定含む)
<ul style="list-style-type: none"> ○パンフレットの作成・配布及びホームページへの掲載 ○主催研修チラシ・月別研修一覧表等の作成・配布 ○研修内容の充実と受講者の満足度向上を図るため、受講者アンケートを実施。 ○研修用介護福祉用具の充実、介護関連図書・DVD等の貸出し ○研修センターへの来所が難しい方達にも受講機会を設けるため、県外講師による主催研修を県下各地で開催 ○介護に関する「出前講座」及び「施設見学」の強化 ○熊本地震を受け企画した「災害時における高齢者の生活支援講座」を県下各地で開催し、地域に根差した介護ボランティアを養成(平成28年度から継続) <平成29年度実績:講座開催15回、受講者462名> ○少子高齢化の進展に伴い、介護離職が社会問題化するなど、「介護への備え」がますます必要となっていることから、県と協力して「介護力強化セミナー」(働く家族の介護力強化事業)を開催し、現役で働く世代にも積極的に介護への理解を深めていただく取組みを推進。(平成28年度から継続) <平成29年度実績:講座開催21回、受講者668名) 	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅で介護を受けても、施設入所をして介護を受けても、同じように個人が尊重され、安心して歳を取ることができる社会づくりの実現を目指したい。 ・地域の介護力を上げ、できるだけ在宅生活が続けられるように支え合えるネットワークづくりを進めたい。 ・引き続き、県外講師にはできるだけ県内各地に出向いていただき、県下各地で多くの方が介護の研修を受講できる機会を設ける。 ・介護の普及啓発についてすそ野を広げるため、夏休みに親子(小・中学生とその保護者)で学ぶ介護講座を開催予定 ・研修受講者の要望に応じ、土曜、日曜日や夜間にも主催研修等を開催 ・介護に関する「出前講座」及び「施設見学」の強化 ・研修センターの知名度向上及び受講者の増を図るため、県等と協力・連携し事業を推進 ・働く家族の介護力強化事業(介護力強化セミナー等)への協力による現役で働く世代向けの介護の普及啓発の強化 ・社会福祉協議会及び地域包括支援センターと連携した研修事業の推進

イ) 利用者からの声への対応状況(平成29年度)

利用者からの評価や苦情・要望の主な内容	利用者からの苦情・要望への主な対応状況
<p>(利用者からの評価)※アンケートから抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護初心者にも良く分かった。専門でなくても個人で気軽に参加できるのが嬉しい。 ・目からウロコの体験を多くさせていただいた。もっと若い人達にも参加してもらいたい。 ・実際に実技を体験することで、よく分かった。 ・介護に対する考え方が変わった。 ・介護をする側にもされる側にも優しい介護だと思った。 ・心を打たれた研修だった。 ・宿泊できるのがとても良い。 ・ぜひまた受講したい。 ・今後、家族の介護が必要になってくる世代向けの講座を受講したい。 ・困った時に相談に行けるところがあるのは安心だ。 ・高齢化社会に必須の体験や知識が習得できる施設だと思う。 <p>(苦情・要望)※アンケートから抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通の便が悪い。 ・雨だと駐車場に水たまりが多くできて困る。 ・駐車場のラインが見えにくい。 ・駐車場の出入口の傾斜がもう少し緩やかだと安全に出入りできる。 ・宿泊室に電子レンジが欲しかった。 ・1階のお手洗いが暗い。 ・男性への指導をしていただきたい。 ・幅広く広報をすることで認知度を高めることが必要だ。もっと大勢の人にセンターがあることを知ってもらいたい。 ・地域の公民館等での出前講座をどんどん増やしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・受講者アンケートで、駐車場について「雨だと水たまりが多くできて困る」「ライン(区画)が見えにくい」「出入口の傾斜を緩やかにしてほしい」との意見が寄せられたことから、砂利を敷き直して水たまりを防止するとともに、経年劣化していたラインを引き直した。出入口には緩衝用のゴム板を重ね置きして傾斜の緩和を図っている。 ・受講者アンケートで要望のあった電子レンジを宿泊室の廊下に設置した。 ・1階のお手洗いが暗いとの意見が寄せられたことから、照明を交換し改善を図った。 ・「荷物入れがほしい」という意見に対応して荷物入れのカゴを各席に設置しているが、「ありがたい」との意見が引き続き多く寄せられている。 ・地域の公民館等で「出前講座」を開催してほしいとの要望が急増しているため、小規模な講座であっても、できる限りきめ細かく対応している。(出前講座の平成29年度実績:開催回数268回・受講者数11,606人)

7. 平成29年度実績に係る施設の利用状況及びサービスの質向上に向けた取組みに関する確認・検証

指定管理者の自己検証	県の施設所管課の確認・検証意見
<p>・当センターは、一般の人たちが、何の備えもなく介護に直面する戸惑いを少しでも軽減し、事前の準備ができるように作られた。それと同時に、本来介護が目指さなければならない方向を明確にし、すでに介護を仕事としている人たちにも学び直してもらいたいという願いも込められている。開設以来14年間、発信し続けている「介護を、自分のこととして学びましょう」というセンターのコンセプトこそ、今にふさわしいと思う。</p> <p>団塊の世代が高齢者となり、介護を必要とするまでの準備として、これから研修センターが果たしていく役割は益々大きくなっていくと思われる。</p>	<p>・県下各地において、地域と連携した多彩な講座を積極的に展開し、過去2番目に多い受講者数(15,639人)を記録しており、平成29年度の取り組みも高く評価できる。また、熊本地震を受け企画した「災害時における高齢者への生活支援講座」や、センター長による「すぐに役立つ介護講座」シリーズ、現役世代を対象とした「働く家族の介護力強化セミナー」等、地域のニーズに応じた新たな企画は、着実に受講者数の増と満足度の向上に繋がっている。講座を受講した方が、「地元でも講座を開催してほしい」「所属団体の講演に来てほしい」「我が社で講座を開催してほしい」等と、次の出前講座の依頼や見学研修等の来所に繋がるケースが増加しており、センターの研修が受講者に高く評価されていることの表れであると考えられる。</p> <p>・様々な工夫により経費節減に努めるとともに、施設・設備については適時・適切なメンテナンスがなされており、安定した運営管理が行われている。</p> <p>・利用者のニーズの把握に努めており、迅速な対応がなされている。</p> <p>・受講者アンケートでも好意的意見が多く寄せられ、利用者の満足度は高い。</p> <p>・施設・設備等の老朽化に伴い、修繕費が増加傾向にあるため、優先度を見極めた上で計画的な予算執行に努めていただきたい。</p>



8. 指定管理者制度の導入による効果と課題の検証

<p>指定管理者は、多彩な研修を積極的に展開し、在宅介護研修センターの利用促進と、利用者の満足度の向上に努めており、高く評価できる。また、利用者の要望に的確に対応するとともに、円滑かつ安定した運営がなされており、施設・設備も適切なメンテナンスにより良好に保たれている。介護の研修の場と実践の場が一体となった研修施設は、他県には例をみないものであり、先進的取組みとして民生児童委員など県外からの視察が相次いでいることから、全国に誇れる施設として一層の発展を目指していただきたい。</p> <p>今後さらに進展する高齢化を見据えた時、増大する介護給付費を抑制しつつ、高齢者一人ひとりの尊厳を支えるケアを確立するためには、地域全体で助け合い支え合う社会づくりを進める必要があり、在宅介護研修センターの存在価値はますます高くなっている。今後も引き続き、広く一般県民を対象として、生きた介護を学ぶことのできる実践的研修を展開し、本県の介護の質の向上と、地域の介護力強化に努めていただきたい。</p>
--